

3. 活動内容

(1) テーマ (主題)

地域とつながり 未来へはばたく みやにし
(人・文化・自然)

(2) 主な活動内容について

ア ふるさとの歴史・文化に学ぶ活動

(7) 【郷土芸能「口屋音頭」の伝承】

(ねらい)

- ・ 別子銅山、口屋の繁栄を歌った郷土芸能「口屋音頭」の伝承を通して、ふるさと「宮西」を愛する気持ちを育てる。

(活動の実際)

- ・ 運動会において、全校児童で「口屋音頭」を踊るために、宮西校区女性部の方々に指導をしていただいて練習をした。
- ・ 宮西夏まつりで口屋音頭を踊る5年生と保護者を対象に、宮西校区女性部の方々に指導をしていただいて練習をした。
- ・ 児童数名が、新居浜市の芸能祭に公民館関係者とともに出演し、「口屋音頭」を発表した。



運動会での演技

(4) 【第5学年「防災 宮西レンジャー」】

(ねらい)

- ・ 過去の災害や地域で起こりやすい災害から、自分の課題を設定し、本やインターネット、聞き取りなどから資料を収集したり分析したりする。
- ・ 地域に起こりやすい災害や地域における過去の災害について理解し、安全な行動をとるための判断に生かすことができる。

(活動の実際)

- ・ 自分たちの住む地域にはどんな危険な箇所や災害時に役立つものがあるのかを探しに行った。地域に住む方と一緒に、いろいろなことを教えていただきながら『防災まちあるき』を実施した。
- ・ 『防災まちあるき』で見つけた危険な箇所や役立つものを、各地区毎に防災マップにまとめていった。
- ・ 今まで指導してくださった方やまちあるきをしてくださった方を学校へ招き、学習したことを発表した。



防災まちあるき

(5) 【第3学年「わたしたちのまち『宮西』】

(ねらい)

- ・ 「まちたんけん」を通して見つけた「古いもの」や「めずらしいもの」について調べたり、聞き取りをしたり



まちたんけん

することを通して、宮西校区のよさに気付くとともに、宮西校区を大切にしようとする心を育てる。

(活動の実際)

- ・ 「まちたんけん」を行い、コース周辺にある「古いもの」「めずらしいもの」を自分の目で確かめたり、一緒に歩いてくれる地域の人のお話を聞いたりする。
- ・ 自分の調べたことをまとめてクラスで交流し合い、宮西校区の昔の様子についてまとめる。

(E) 【第1学年「むかしからあるあそびをたのしもう」】

(ねらい)

- ・ 地域の人に昔からある遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、昔から伝わる遊びのよさや楽しさ、地域の人のおよしさに気付くことができる。

(活動の実際)

- ・ 地域の人を招待して、昔からある遊びを教わり、一緒に遊ぶ。
- ・ 楽しかったことや気付いたことを振り返り、遊びを教えてくれた人にお礼の手紙を書く。



紙飛行機作り

イ 人との出会いやつながりを大切にした交流活動・体験活動

【第4学年「七草粥体験活動」】

(ねらい)

- ・ 公民館関係者の方々に七草について教えてもらい、一緒に作ることで、地域との関係を深めるとともに、伝統行事・文化を次世代へ継承する。

(活動の実際)

- ・ 宮西校区まちづくり推進委員長より七草の種類や七草粥の由来について説明を受ける。
- ・ 女性部や保護者の方に七草粥の作り方を教えてもらい、一緒に作る。そして、作った七草粥を一緒に食べ、無病息災を願う。



七草粥体験活動

ウ 豊かな感性と表現力を育てる環境づくり

【地域ボランティアと保護者による読み聞かせ】

(ねらい)

- ・ 地域の方々と児童との親密な人間関係を築き、幅広く読書に親しむ態度を育てる。

(活動の実際)

- ・ 木曜日(月2回程度)の朝の時間(8:00~8:10)、公民館が中心となって募集した地域ボランティアの方々と保護者が各教室を訪れ、読み聞かせをする。



読み聞かせ

エ 「あいさつ日本一」の学校づくり

【6年生によるあいさつ当番】

(ねらい)

